

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力のお願いについて

- 荷主関係団体等に協力要請（本省事務連絡）
- 異常気象時における措置の目安（リーフレット）
- 大型車の冬用タイヤとチェーン（リーフレット）
- 気象に関する緊急発表等（緊急発表プレス）
- 冬期における発生事象（関越道、北陸道）

事 務 連 絡
令和 3 年 1 月 2 8 日

荷主関係団体等 あて

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力のお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要がありますが、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今的大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

無理な輸送を
強要されたら…

荷主勧告制度

出典：国土交通省

荷主勧告制度とは

「荷主勧告」は、貨物自動車運送事業法に基づき、トラック運送事業者の過積載運行や過労運転防止措置義務違反等の違反行為に対し行政処分を行う場合に、当該違反行為が荷主の指示によるなど主として荷主の行為に起因するものと認められるときは、国土交通大臣が当該荷主に対し違反行為の再発防止のための適当な措置を執るべきことを勧告するもの。

勧告を発動した場合には、当該荷主名及び事案の概要を公表します。
また、法律に基づく勧告のほか、①勧告には至らないものの違反行為への関与が認められる荷主に対する「警告」、②関係機関からの法令違反情報等をもとに関係する荷主を特定し早期に働きかけを行う「協力要請」といった措置を通達により設けています。

こんなときは情報提供を！

上記とは別に、貨物自動車運送事業法附則第1条の2に規定する違反原因行為に該当しうる荷主の行為の例として、「輸送の安全確保義務違反を招くおそれのある異常気象時など、安全な運行の確保が困難な状況で運行を強要するような行為」も示しています。

輸送の安全を確保できないような運行を強要された場合には下記の国土交通省の「輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口」のホームページや適正取引相談窓口へご提供ください。

無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口

方法1

QRコードを読み取り！



方法2

ヤフーやグーグルの検索窓に下記の文字を入力して検索！

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集

検索

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集について

国土交通省では、貨物自動車運送事業者及び荷主のみなさまに対して、これまで、「標準運送約款の改正」、「適正取引の推進」、「荷主勧告制度」等を周知してきました。
これらの取組みに関するご認識、浸透度、実施状況等の実態把握を行うため、輸送・荷待ち・荷役などに関する意見等の募集窓口を設置致します。

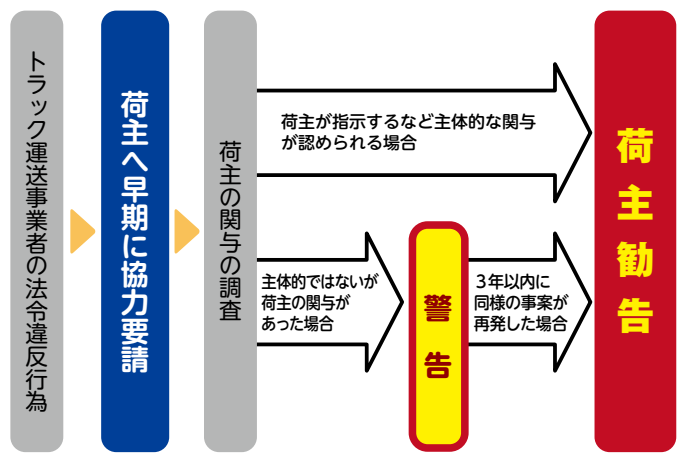
意見等の募集窓口

長時間の荷待ちや契約に含まれない附帯業務（追加業務）など、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報をお持ちの場合は、[こちら](#)へ情報をお寄せください。

●お持ちの情報はこちらへ投稿ください

クリックすると
投稿画面が開きます

荷主勧告制度



国土交通省適正取引相談窓口

国土交通省 自動車局 貨物課	03-5253-8575	北陸信越運輸局 自動車交通部 貨物課	025-285-9154	中国運輸局 自動車交通部 貨物課	082-228-3438
北海道運輸局 自動車交通部 貨物課	011-290-2743	中部運輸局 自動車交通部 貨物課	052-952-8037	四国運輸局 自動車交通部 貨物課	087-802-6773
東北運輸局 自動車交通部 貨物課	022-791-7531	近畿運輸局 自動車交通部 貨物課	06-6949-6447	九州運輸局 自動車交通部 貨物課	092-472-2528
関東運輸局 自動車交通部 貨物課	045-211-7248	神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門	078-453-1104	沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課	098-866-1836

ドライバーの命と大切な荷物を守るために！ 異常気象時は運行中止も視野に…

台風等による異常気象時下における無理な運行により、近年、事業用トラックの横転事故等が相次ぐなど、トラック運送事業の遂行に支障をきたす事案が散見されております。

台風等による被害発生が予測される場合には、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、着荷主・発荷主等とも連携を図りつつ、ドライバーの命と大切な荷物を守るための行動の実践に取り組みましょう。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、国土交通省のホームページに設置する「意見等の募集窓口」や、最寄りの地方運輸局又は運輸支局等にその旨通報する手段が設けられています。

⚠ 異常気象時における措置の目安 ⚠

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安※
降雨時 	20～30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30～50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10～15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15～20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20～30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時 	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良（濃霧・風雪等）時 	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき		
警報発表時 	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき		

※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

出典：国土交通省自動車局貨物課長通達 ※この目安は令和2年2月28日現在。



国土交通省



公益社団法人
全日本トラック協会

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関

気象情報

※QRコードの位置は誤認識を防ぐ為の配置となっています。

天気予報 	気象庁 天気予報 https://www.jma.go.jp/jp/yoho/ 	気象庁 週間天気予報 https://www.jma.go.jp/jp/week/ 
降雨時 	気象庁 アメダス 降水量 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=0 	tenki.jp 雨雲レーダー https://tenki.jp/radar/map/ 
暴風時 	気象庁 アメダス 風向・風速 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=1 	YAHOO天気・災害 風予測 https://weather.yahoo.co.jp/weather/wind/ 
降雪時 	気象庁 現在の雪 https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/ 	気象庁 アメダス 積雪深 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/?elementCode=4 
視界不良(濃霧・風雪等)時 	気象庁 気象警報・注意報 濃霧 https://www.jma.go.jp/jp/warn/000_20.html 	CPS-IIPリスクウォッチャー 濃霧注意報・気象警報最新マップ http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/warning-map/20/ 
警報発表時 	気象庁 気象警報・注意報 https://www.jma.go.jp/jp/warn/ 	tenki.jp 警報・注意報 https://tenki.jp/bousai/warn/ 
ライブカメラ 映像 	国土交通省 各地方整備局の取組 全国のライブカメラ https://www.mlit.go.jp/road/bosai/LIVEcamera.html 	

お使いのスマートフォンやパソコンによって画面の表示が異なることがあります。
また、QRコードの読み取りソフトによってサイトまでの表示手順が異なることがあります。

各情報をもとにとるべき行動と、相当する警戒レベルについて

出典：気象庁

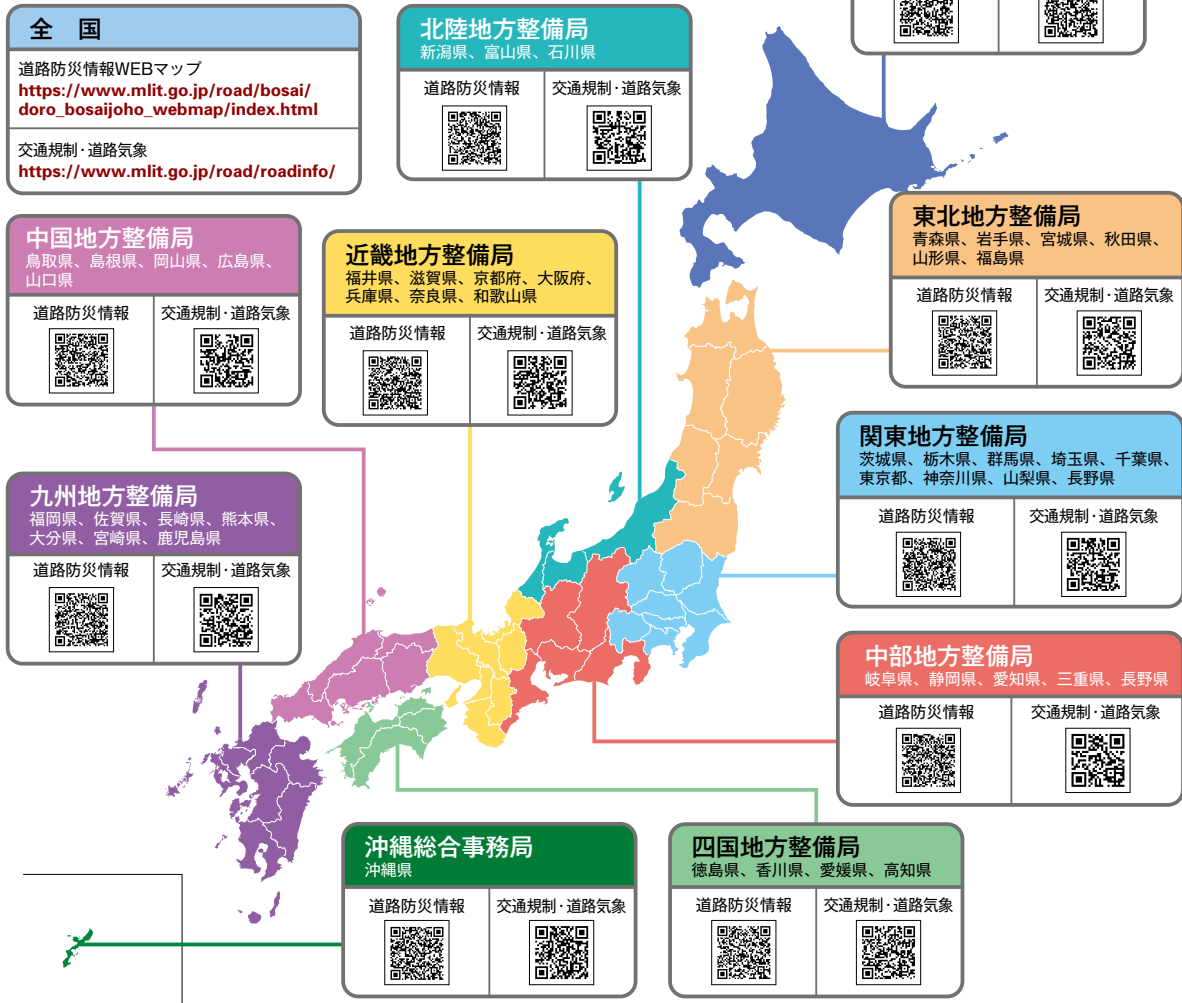
情報	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報※1	地元の自治体が避難勧告を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、 自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル4相当
大雨警報(土砂災害)※2 洪水警報 高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの※3)	地元の自治体が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、 自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル3相当
大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報(警報に切り替える可能性に言及されていないもの※3)	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。 ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル2

- ※1 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。
※2 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。
※3 警報に切り替える可能性については、市町村ごとの警報・注意報のページで確認できます。

道路管理者が提供する道路情報

※道路防災情報：事前通行規制区間、冠水想定箇所等

※交通規制・道路気象：道路に関する規制情報やお天気情報、路面情報



道路・交通情報

通行止め 	国土交通省 ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp/ 	(公財) 日本道路交通情報センター 高速道路や一般道路の通行止め、渋滞、冬用タイヤ必要等の情報 http://www.jartinc.or.jp/
渋滞情報 	ドラとら https://www.drivetraffic.jp/ 	
雪道情報 	国土交通省 冬の道路情報 雪みち情報リンク集 https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/fuyumichi.html 	国土交通省北陸雪害対策技術センター おしえて！雪ナビ http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/ 
異常気象時の運転注意点 	国土交通省 冬の道路情報 雪みちの運転テクニックに関するリンク集 https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/drive.html 	JAF 台風・大雨時のクルマに関する注意点 https://jaf.or.jp/common/attention/flood 

高速道路情報

全国高速道路交通情報(リアルタイムな渋滞規制情報) ※一部のサイトでは都市高速道路、一般道路の情報も含まれます。		
(公財) 日本道路交通情報センター http://www.jartinc.or.jp/ 	アイハイウェイ(中日本) https://www.c-ihighway.jp/pcsites/ 	
 ドラぶら https://www.driveplaza.com/	 アイハイウェイ(西日本) https://ihighway.jp/pcsites/	

異常気象時の高速道路影響予測

国の「緊急情報」や、「特別警報」が発令されるようなときには、高速道路各社と気象予測会社連携して注意喚起の広報が行われるサイトです。

高速道路影響情報サイト
<https://ex-ssw.com/>


 NEXCO東日本
<https://www.e-nexco.co.jp>

 NEXCO中日本
<https://www.c-nexco.co.jp>

 NEXCO西日本
<https://www.w-nexco.co.jp>

 首都高速道路(株)
<https://www.shutoko.co.jp/>

 阪神高速道路(株)
<https://www.hanshin-exp.co.jp/company/>

 本州四国連絡高速道路(株)
https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/

雪道での立ち往生に注意！

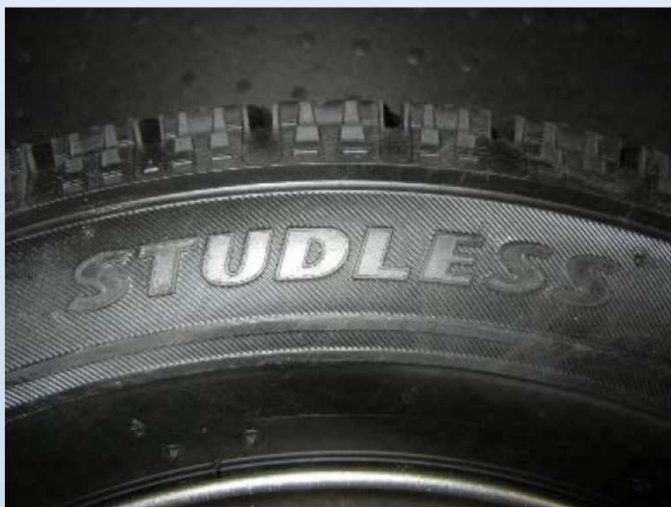
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- ❏ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❏ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❏ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

冬用タイヤの選び方

- ❏ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- ❏ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレークマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレークマーク
タイヤの側面に表示
されています。

冬用タイヤの使用限度

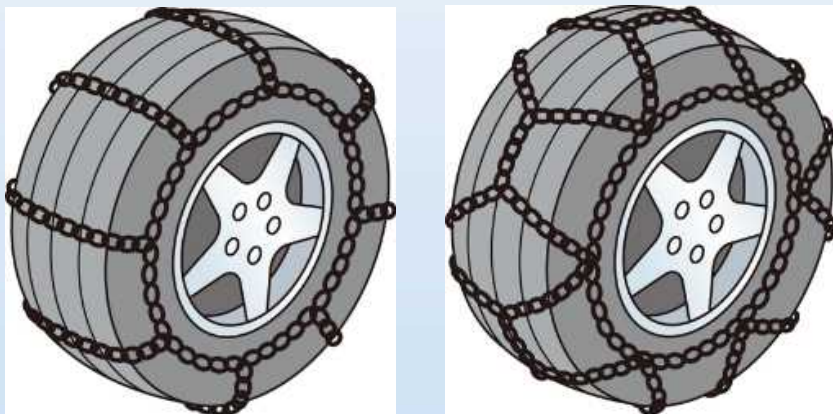
- ❏ **溝深さが50%以上**残っていることを「**プラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

チェーンの効果

- ❏ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❏ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❏ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❏ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

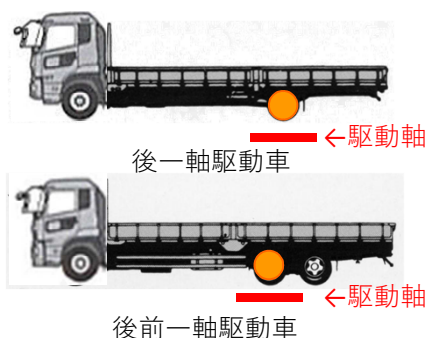
性能限界

- ❏ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触するような新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❏ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

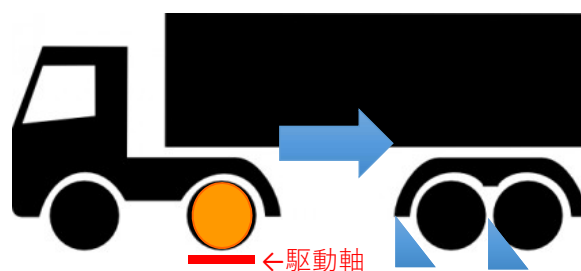
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



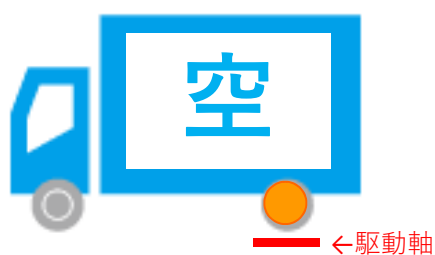
二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省
自動車局 審査・リコール課



気象に関する緊急発表等

- 数年に1度の荒天が予想される場合、札幌管区気象台、北海道運輸局、NEXCO東日本北海道支社と連名で緊急発表
- 大荒れの天気により通行止めが予想される場合、NEXCO東日本北海道支社と連名で不要不急の外出自粛を呼びかけ

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

「世界の北海道」を目標して
北海道開発局 北海道建設者会加入各社 札幌管区気象台 東日本高速道路(株)北海道支社

ウボボイ
気象共生型気象空間

令和3年2月15日
北海道開発局
北海道運輸局
札幌管区気象台
東日本高速道路(株)北海道支社

暴風雪に対する緊急発表

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を
事前に確認し、万全な備えを～

日本海側では、16日は急速に発達する低気圧により「数年に一度の猛ふぶき」となる見込みです。見通しの全くきかない猛ふぶきや吹きだまりによる立ち往生に警戒が必要です。最新の気象情報や道路交通状況等を確認していただき、万全な備えをお願いします。

札幌管区気象台では、「暴風雪と高波及び高潮に関する北海道地方気象情報」を発表し、別紙1のとおり、暴風雪等への警戒を呼びかけています。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます(別紙3)。また、高速道路においても通行止めなどの規制実施が予想されるとともに、並行する国道でも通行止めの可能性がありますので、運行計画の見直しや広域の迂回などの対応をお願いします。

なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙4のとおり、緊急通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承ください。

また、「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」による道路交通障害、公共交通機関の遅延や運休が発生するおそれがあります。最新の道路情報、交通関係情報や気象情報(別紙5参照)を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え(別紙5、6参照)をお願いします。

<最新の気象情報・道路情報・交通関係情報は、こちらを御覧ください>

気象情報: <https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>
北海道地区道路情報: <https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
北海道 旅の安全情報(交通機関の運行情報が確認できます): <http://safety-travel.jp/>
道路交通情報NOW!! ― 日本道路交通情報センター: <https://www.jartc.or.jp/>
ドライブレラフィック(PC・スマホ): <https://www.drivetrffic.jp/>

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

「世界の北海道」を目標して
北海道開発局 北海道建設者会加入各社 札幌管区気象台 東日本高速道路(株)北海道支社

ウボボイ
気象共生型気象空間

令和3年1月6日
北海道開発局
北海道運輸局
東日本高速道路(株)北海道支社

暴風雪と大雪に伴う道路利用にあたってのお願い

不要不急のお出かけはお控えください!

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を事前に確認し、万全な備えを～

北海道地方は、急速に発達する低気圧の影響により、7日夜から8日にかけて大荒れの天気となる見込みです。天気の急変や猛ふぶき、吹きだまり等による交通障害に十分注意してください。

不要不急の外出をお控えいただき、やむを得ず道路をご利用される際は、視界不良や路面状況の悪化に十分注意し、スピードダウン・車間距離の確保など安全運転をお願いします。

今後の降雪状況により高速道路や国道など通行止めとなる可能性がありますので、お出かけされる際は、最新の気象状況や交通状況をご確認いただき、早めにSA・PA、道の駅などに立ち寄り天候回復を待つなど早め早めの対応をお願いします。

なお、最新の道路交通情報は、以下のWEBサイトなどでご確認ください。

【最新の交通状況】

- NEXCO 東日本「不要不急のお出かけはお控えください」(NEXCO東日本HP参照)
- 道路交通情報NOW!! ― 日本道路交通情報センター
- ドライブラフィック(PC・スマホ)
- ドライブラフィック(携帯)
- NEXCO東日本(北海道)公式ツイッター
- 北海道地区道路情報
- 北海道開発局道路情報ツイッター
- 走行中に入手できる道路交通情報

・道路情報板、ハイウェイラジオ(AM1520kHz)【放送している区間は、高速道路上の標識でご案内しています】

【最新の道路情報についての問合せ先】

○日本道路交通情報センター 電話 050-3369-6601

【NEXCO東日本の問合せ先】

○お客さま窓口 NEXCO東日本 お客さまセンター 電話 0570-024-024または03-5308-2424

【北海道開発局の問合せ先】

○国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 課長補佐 西山 泰幸 電話 011-756-5021(内線6821)

令和3年2月15日
暴風雪に対する緊急発表

令和3年1月6日
暴風雪と大雪に伴う道路利用にあたってのお願い

冬期における発生事象について（令和2年12月 関越道）

E17関越自動車道（新潟県）における大雪に伴う車両滞留

○E17関越道において、大型車のスタック等を契機に、約2,100台の滞留が発生。
○自衛隊や警察等の協力による物資配布、中央分離帯開口部や渋滞後尾からのUターン等による車両救出を実施。

◇新潟市方面 時系列

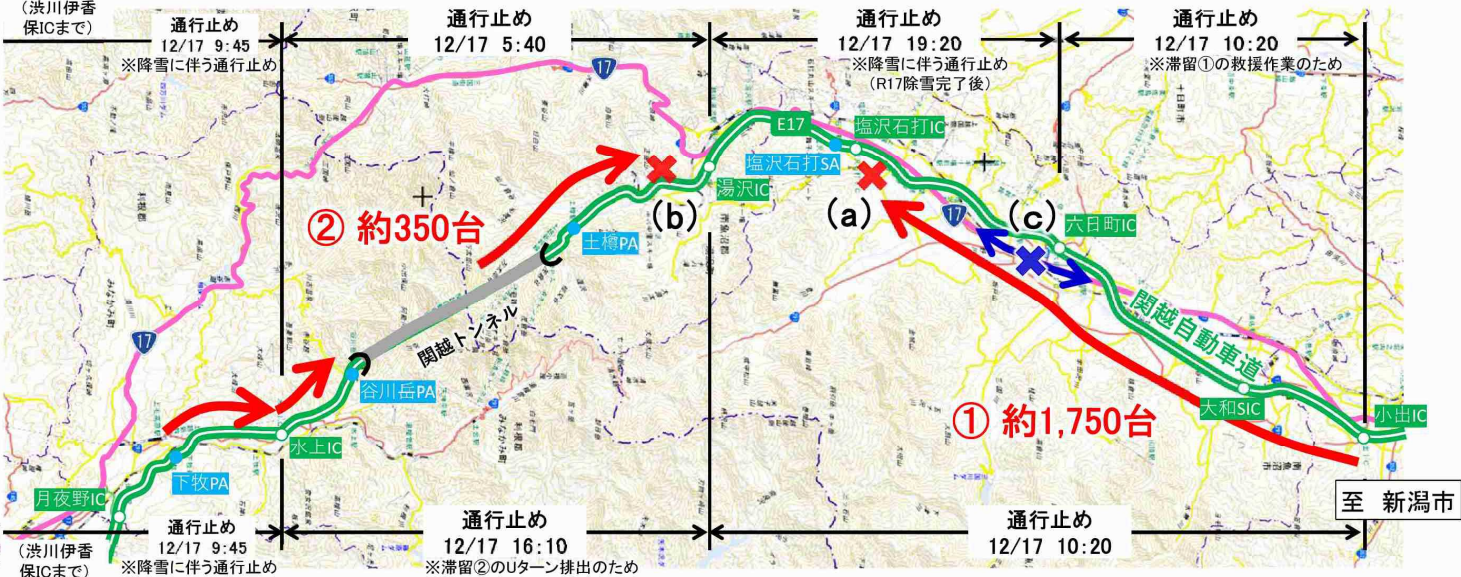
日付	時間	内 容	日付	時間	内 容	日付	時間	内 容
12月16日	22:03	大型車スタック発生【(b)滞留②の要因】	12月17日	9:45	渋川伊香保IC～水上IC（上下線）通行止め開始	12月18日	5:20	滞留②のうち水上IC～谷川岳PA区間車両排出完了
				10:20	六日町IC～小出IC（新潟方面）通行止め開始		7:00	HP広報（残り約70台の滞留車両）
				11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		7:30	滞留②区間車両排出完了
				12:26	滞留②のうち下牧PA～水上IC区間車両排出完了		12:00	HP訂正広報（残り約1000台の滞留車両確認）
12月17日	0:28	滞留延長に伴い関越トンネル（新潟方面）進入禁止		14:10	滞留②を谷川岳PAの雪水作業路でUターン排出開始			
	0:45	滞留②の排出作業着手		17:30	滞留②を関越TN手前の中分開口部でUターン排出開始			
	5:40	水上IC～湯沢IC（新潟方面）通行止め開始		19:10	渋川伊香保IC～月夜野IC（上下線）通行止め解除	12月19日	17:30	湯沢IC～小出IC（上下線）通行止め解除
				19:20	湯沢IC～六日町IC（新潟方面）通行止め開始		21:30	月夜野IC～湯沢IC（新潟方面）通行止め解除



①滞留の状況



②滞留の状況



（渋川伊香保ICまで） 通行止め 12/17 9:45 ※降雪に伴う通行止め

通行止め 12/17 5:40

通行止め 12/17 19:20 ※降雪に伴う通行止め（R17除雪完了後）

通行止め 12/17 10:20 ※滞留①の救援作業のため

② 約350台

① 約1,750台

至 東京都

至 新潟市

◇東京方面 時系列

日付	時間	内 容	日付	時間	内 容	日付	時間	内 容
12月16日	17:52	大型車スタック発生【(a)滞留①の要因】	12月17日	10:20	湯沢IC～小出IC（東京方面）通行止め開始	12月18日	7:00	HP広報（残り約70台の滞留車両）
	20:39	国道17号故障車により通行止め【(c)箇所】		11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		12:00	HP訂正広報（残り約1000台の滞留車両確認）
	22:00	滞留①の排出作業着手		11:45	滞留①を塩沢石打SA雪水作業路でUターン排出開始		18:00	滞留①を中分開口部（塩沢石打～六日町）でUターン排出開始
				16:10	水上IC～湯沢IC（東京方面）通行止め開始		22:15	滞留①区間車両排出完了
				20:20	滞留①を後尾から逆走による排出開始			
12月17日	0:10	関越道通行止め見送り（国道17号通行止めのため）				12月19日	17:30	湯沢IC～小出IC（上下線）通行止め解除
	1:27	国道17号通行止め解除【(c)箇所】					18:45	月夜野IC～湯沢IC（東京方面）通行止め解除

R3.2.3 第5回「冬期道路交通確保対策検討委員会」資料より

9

冬期における発生事象について（令和3年1月 北陸道）

E8北陸自動車道（福井県）における大雪に伴う車両滞留

○E8北陸道において、大型車のスタック等を契機に、約1,600台の滞留が発生。

○災害対策基本法に基づく区間指定を行い、警察、自衛隊、福井県の協力による物資配布、渋滞後尾からのUターン等による車両救出及び除雪作業を実施。

○滞留解消までに長時間を要する見込みとなったことから、県や観光・運輸部局と連携して、一時避難希望者（23名）に対して、ホテルや宿泊所の提供を実施。

◇金沢方面 時系列

日付	時間	内 容	日付	時間	内 容	日付	時間	内 容
1月9日	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b)滞留②③の要因】	1月10日	1:05	武生IC～福井IC（金沢方面） 雪により通行止め延伸	1月11日	7:00	滞留④区間 車両排出完了
	13:55	福井北IC 大型車の故障によるランプ閉鎖【(c) 滞留④の要因】		1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼		1月12日	6:00
	22:20	金津IC～福井IC【炎対法適用開始】		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請			
	23:25	渋滞延伸により福井IC～福井北IC（金沢方面） 通行止め開始		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
			10:10	福井北IC～加賀IC（金沢方面） 雪通行止め開始				
			20:00	滞留③区間 車両排出完了				

◇米原方面 時系列

日付	時間	内 容	日付	時間	内 容	日付	時間	内 容
1月9日	11:30	大型貨物の事故により車線閉塞【(a) 滞留①の要因】	1月10日	1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼	1月11日	22:57	滞留②区間 車両排出完了
	11:40	福井IC～丸岡IC（米原方面） 事故通行止め開始		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請		1月12日	6:00
	12:12	丸岡IC部の本線物理的閉鎖		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b) 滞留②③の要因】		10:00	丸岡IC～加賀IC（米原方面） 雪通行止め開始			
	14:30	丸岡IC出口を起点とした本線渋滞発生【滞留②③】		20:00	滞留①区間 車両排出完了			
	22:20	金津IC～福井IC【炎対法適用開始】						

《車両滞留の状況》

《車両救出の状況》

《物資配布・意向確認の状況》

車列の状況

スタックした大型車

直轄応援による車両救出

自衛隊による燃料補給

自衛隊による物資配布

一時避難の意向確認

R3.2.3 第5回 「冬期道路交通確保対策検討委員会」資料より 10